

中学校部活動に関するアンケート（対象：小学校5、6年生）

資料No.4-

中学校では放課後と休日に部活動が行われています。
学校の部活動以外にも地域クラブに入り活動している中学生もいます。
みなさんが中学校に入り、放課後や休日にどんなことがしたいのかお聞きします。

部活動ってなに？

- ・学校の方針により活動（活動場所は主に学校）
- ・放課後や休日にスポーツや文化などに親しむ場
- ・豊かな中学校生活を送りながら成長する場
- ・クラスとは違い、様々な学年の人や先生と同じ目的や目標のもとに集まり、交流ができる場
- ・大会やコンクール等に参加し、達成感を得る場

部活動や地域クラブをすると何か良いの？

- ・様々な人との交流により、人間関係や集団生活をつくる機会となります
- ・自分で判断できる力をつけることができます
- ・中学校生活をより楽しく送れるようになります
- ・体力が向上し、健康的な生活が送れるようになります
- ・自分の可能性を広げることができます

部活動と地域クラブの違いはなに？

- ・クラブの方針により活動（活動場所は放課後や休日に地域クラブが指定した場所）
- ・あとは部活動とほぼ同じです

先生方へ（調査について）

- ・児童へ上記の説明をしていただきながら回答するようにしてください
- ・回答方法 一人一台端末を使用し、Googleフォームによるオンライン回答
- ・回答期間 令和5年5月末まで

中学校部活動に関するアンケート（対象：中学校1、2年生）

はじめに

国では、中学校部活動に関して以下のように進めることとしています。

- ・ **休日の中学校部活動**を段階的に地域に移行（令和5年度～令和7年度を改革推進期間）※平日は学校部活動
- ・ 地域の実情に応じて可能な限り早期の実現をめざす
- ・ 平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を進める

背景

- ・ 今後、生徒数が減少し、先生も減少することで指導する先生も減少する
- ・ 専門的な指導ができる先生ばかりではない
- ・ 学校部活動の存続が厳しい状況

地域移行すると何が変わるの？

- ・ 指導者は、地域の方や指導を希望する先生
- ・ 指導者は学校部活動と連携し、専門的な指導をしてくれる
- ・ 地域の様々な人との交流で、社会性が向上することが期待される
- ・ クラブ活動に必要な費用が生じる

調査について

○岡谷市における学校部活動の地域移行への取組を検討するため、部活動に関する意識調査を行います。休日に関して回答してください。

- ・ 回答結果は、令和5年度からの地域移行への取組に参考とさせていただきます
- ・ 回答方法 一人一台端末を使用し、Googleフォームによるオンライン回答
- ・ 回答期間 令和5年5月末まで

中学校部活動に関するアンケート（対象：小学校、小5～小6保護者）

はじめに

国では、中学校部活動に関して以下のように進めることとしています。

- ・ **休日の中学校部活動**を段階的に地域に移行（令和5年度～令和7年度を改革推進期間）※平日は**学校部活動**
- ・ 地域の実情に応じて可能な限り早期の実現をめざす
- ・ 平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を進める

背景

- ・ 少子化、教員減
- ・ 学校単位では部活動が成り立たない状況
- ・ 多様化する子どもたちのニーズへの対応
- ・ 学校部活動は教育課程外（先生方の本務ではない）
- ・ 先生方の長時間勤務、専門性、異動等の問題

地域移行により目指すもの・変わること

- ・ 地域が主体となり、持続可能な地域部活動の実現
- ・ 生涯スポーツ、文化芸術活動に親しむことができる、より良い環境を整備
- ・ 平日の部活動も地域移行を視野に入れた活動
- ・ 指導者は、地域の方や指導を希望する先生
- ・ 指導者への謝金など、受益者負担となる

調査について

○岡谷市における学校部活動の地域移行への取組を検討するため、部活動に関する意識調査を行います。お子様が中学校に入学してからのことを想定し、回答してください。

- ・ 回答結果は、令和5年度からの地域移行への取組に参考とさせていただきます。
- ・ 回答方法 学校・家庭双方向通信アプリ（すぐーる）によるオンライン回答
- ・ 回答期間 令和5年5月末まで

中学校部活動に関するアンケート（対象：中学校、中1～中2保護者）

はじめに

国では、中学校部活動に関して以下のように進めることとしています。

- ・ **休日の中学校部活動**を段階的に地域に移行（令和5年度～令和7年度を改革集中期間）※平日は**学校部活動**
- ・ 地域の実情に応じて可能な限り早期の実現をめざす
- ・ 平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を進める

背景

- ・ 少子化、教員減
- ・ 学校単位では部活動が成り立たない状況
- ・ 多様化する子どもたちのニーズへの対応
- ・ 学校部活動は教育課程外（先生方の本務ではない）
- ・ 先生方の長時間勤務、専門性、異動等の問題

地域移行により目指すもの・変わること

- ・ 地域が主体となり、持続可能な地域部活動の実現
- ・ 生涯スポーツ、文化芸術活動に親しむことができる、より良い環境を整備
- ・ 平日の部活動も地域移行を視野に入れた活動
- ・ 指導者は、地域の方や指導を希望する先生
- ・ 指導者への謝金など、受益者負担となる

調査について

○岡谷市における学校部活動の地域移行への取組を検討するため、部活動に関する意識調査を行います。お子様にとってどのような活動がよいのかを想定し、回答してください。

- ・ 回答結果は、令和5年度からの地域移行への取組に参考とさせていただきます。
- ・ 回答方法 学校・家庭双方向通信アプリ（すぐる）によるオンライン回答
- ・ 回答期間 令和5年5月末まで